

学生担当者報 3

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 茶谷良佐 編集責任者 / 辻 雄二郎

TEL 0743-63-1511(内線5817) 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website <https://tsa.tenrikyo.or.jp>

Vol. 397
立教183年
2020年
2月25日発行



「学生生徒修養会・大学の部」「高校卒業生コース」が終ると、いよいよ三月二十八日に「春の学生おぢばがえり」が開催される。まさに今、全国の道の学生たちは六千五百名の帰参目標を目指して、教会まわりや会員まわりに励んでいることであろう。

思い返すと、私は二十四年前、「教祖百年祭 学生おぢばがえり大会」を櫻井学生会の委員長として迎えた。私も同じように教会にお願いに行かせてもらったり、名簿を基に会員さん宅に電話を掛け、直接会つてお誘いしたことなど懐かしく思い出す。担当委員の先生方には随分サポートをしていたのだ。急なお願いや無理な要望もあ

春学どつと鼓舞

学生部 部長
富松 基成

学生担当者報



つたと思う。陰で頭を下げてくださったこともあつたと思う。本当に親身になつて応援してくださつた。今になって、この学生担当の御用がものすごく「大変」だということが分かつたと同時に、とても「大切」だと知つた。

学生会の活動は、学生自身のやる気が一番大切である。しかし、その年によつて学生も顔触れが変わり、放つておいても学生が自主的に取り組んでいく年もあれば、かなり促さなければ動かない年もある。また、活動を進めるに当たつては、不備に気付かなかつたり、あるいは一番大切なやる気そのものが途切れてしまうこともある。真柱は、「天理教学生会の活動をバックアップすると共に、道の将来を担う学生成徒が、世界だけのよふぼくとして成人するための世話をすること

学生層育成者講習会	
日程・会場案内	報告
【直属】 ・城山 3月22日 11時40分より ・鳥取 1月30日 教務支庁 小塚委員出向 ・兵庫 1月30日 教務支庁 100名 ・平田 崇 (朝倉・星野) ・木村重喜 (南海・箕島) ・松尾善徳 (八木・八阪木)	去る1月25日、教序4階講堂において「一月例会」を開催。出席は41教区、117直属。 大教会
各地の動き 【教区学生層育成者講習会】 ・兵庫 1月30日 教務支庁 100名 ・鳥取 1月30日 教務支庁 30名 ・深谷委員出向	
業務記録 《立教183年1月16日～2月15日》 1月16日 まなびばチーム会議 1月18日 事務局連絡会 21日 勉強会チーム会議 25日 例会 研修会チーム会議 担当者活動部部会 編集部部会	月例会



令和2年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

立教183年2月25日

お知らせ

【直属学生層育成者講習会】

114名

27日 学修大学の部スタッフ事前研修会 (29日)
学修高校卒業生コース
スタッフ事前研修会 (28日)

此花 1月24日 詰所

葛西副委員長出向

2月11日 委員会

ビデオチーム会議
春の学生おぢばがえり
担当者活動部部会
プロジェクトチーム会議

学生層育成者講習会

人事
【直属学生担当委員長辞令交付】
《立教183年1月25日付》
船井芳孝 (高安・紀北)
木村重喜 (南海・箕島)
平田 崇 (朝倉・星野)
松尾善徳 (八木・八阪木)

日程・会場案内
【直属】
・城山 3月22日 11時40分より
・鳥取 1月30日 教務支庁 小塚委員出向
・兵庫 1月30日 教務支庁 100名
・平田 崇 (朝倉・星野)
・木村重喜 (南海・箕島)
・松尾善徳 (八木・八阪木)

報

告

一月例会

月例会

業務記録
《立教183年1月16日～2月15日》
1月16日 まなびばチーム会議
1月18日 事務局連絡会
21日 勉強会チーム会議
25日 例会
研修会チーム会議
担当者活動部部会
編集部部会

各地の動き
【教区学生層育成者講習会】
・兵庫 1月30日 教務支庁 100名
・鳥取 1月30日 教務支庁 30名
・深谷委員出向

学生担当者報

高校卒業という人生の大きなターニングポイントを迎える層を対象にした本コースは、卒業後どのような環境においても、おぢば・教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることを目指して、親神様の御教えを学ぶとともに、同世代との繋がりを深めることを目的としたものであ

七日（二十九日）にかけ、第七・八・九母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行い、百七十三名が参加した。

今年も、よりきめ細やかな丹精を目指して、初受講者の「よふき塾」「いさみ塾」、二回目受講で三年生以下の「つなぎ塾」、三回目以上受講の学生と二回目受講の四年生以上の「みのり塾」の四塾に分かれ、塾長・副塾長を中心に男女カウンセラーや世話取りに当たり、庶務係・進行係が塾運営を担う体制をとる。

研修会では、エクササイズ実習を始め、「受講生と接する際の心構え」に

る。

学生生徒修養会 高校卒業生コース スタッフ事前研修会 開催報告



2020 03

web
Happist

<https://happist.net/>

NEWS&INFO

学修 大学の部・高校卒業生コース

連載 毎週月曜更新

・教理コーナー

出会い ふれあい いたすけあい 高見 宇造（本部准員 和爾分教會長）

・信仰エッセー

明日の地図ひろげて

清水 慶政（兵神大教會長）

柏原 信弘（名東大教會長）

中山 祥吉（あきよ志分教會長）

※内容は一部変更になる場合があります。

「学生生徒修養会 大学の部」（二月二日（九日）に先立ち、一月二十七日（二十九日）にかけ、第七・八・九母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行った。

月二日（九日）に先立ち、一月二十七日（二十九日）にかけ、第七・八・九母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行った。

二日目の講話において茶谷委員長は、「ぢばの理の尊さ」について言及し、育成の御用を勤める大切な心構えを諭すとともに、再度スタッフ一人ひとりが本番に向けた心定めをする大さに触れた上で、「今よりも一步成人した姿で当日を迎えてもらいたい」と呼び掛けた。

スタッフ一同は、研修会を通して学んだことを心に治め、本期間に向けて各自が理づくりに励むことを誓い合い、幕を閉じた。

数年ほど前、こどもおぢばがえり団参出発の一週間前に突然、三男が足の痛みを訴えました。原因は不明、症状は一向に良くならず、歩くことすらできなくなっていました。しかし、ふと思いついたおぢばがえり、他の方々に楽しみにしておぢばがえり、他の方々に迷惑を掛けるのではと、参加を断念しようかと思いついたとき、おぢばがえりでたすけていたぐ、と考えるのが本筋ではないかと思い返して、出発前に皆さんにも事情を説明し参加することにしました。

当日、無事おぢばに到着し、神殿参拝後、教祖殿でおさづけを取り次がさせていただき、行事では、車いすでの参加となりました。

そんな中、二日目の午後の行事。楽しく遊びまわる他の子どもたちを目の前に、本人が、足を引きずりながらでも参加したいと言うので、気を抜けながら遊ぶようにと注意し、見守っていました。ところが、遊びに夢中になり、引きずっていた足で少しずつ歩きだし、ついには、走りだしていました。何と行事会場を後にすると頃には、全く痛くないと普通に歩きだしたのです。

出発前、「痛いよ、痛いよ」と、歩けなく、大粒の涙を流して、泣いていた姿を思い浮かべた時、このような不思議な姿を見せていただき、喜びとありがたさに胸が熱くなりました。親里ぢばに帰るとは、どういうことなのか、改めて、考えさせられる出来事でした。

群馬教区学生担当委員会前委員長 番場 努